

## 令和2年度自立支援協議会実務者会について

## 1. 今年度の取り組み内容

例年、課題を抽出し次年度の専門部会に向けてテーマを提案することが実務者会の役割・内容だったが、今年度は新型コロナウイルスの影響で、専門部会のスタートも遅れており、再び流行が起きた時には中断することも予想され、今年度中に終了できない可能性やテーマを提案しても次年度に引き継がない可能性がある。また、今まで単年度で専門部会を行っていたが、近年は課題が解決できずにプロジェクトとして現在も会議体を変えて課題解決が続けられているものや、基幹相談が事務局として継続的に事業を続けている。また、テーマを提案する際には単年度で終わることが難しいものは提案の候補から外している現状がある上、毎年新しいことを考えるスタイルであることから、課題の評価やあり方を振り返る機会を設けられていない。

このことから、今年度の実務者会は、

## 「新たな自立支援協議会のシステムの見直し検討への取り組み(仮)」

を協議テーマとし、今後の実務者会と専門部会の役割・あり方について再検討したい。

## ○実務者会開催予定

	日時	場所	内容
第1回	令和2年 8月～9月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自立支援協議会の目的説明とこれまでの振り返り</li> <li>・今まで取り上げた課題の評価</li> </ul>
第2回	令和2年 10月～11月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在感じている自立支援協議会</li> <li>・実務者会・専門部会の課題を抽出</li> <li>・第2回本会議にて進捗を報告</li> </ul>
第3回	令和3年 1月～2月		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の実務者会と専門部会のあり方を検討しまとめる。</li> <li>・第3回の後の本会議にてまとめを報告</li> </ul>

## 2. 令和2年度実務者会名簿(案)

別添

### 3. これまでの実務者会・専門部会の流れ

	実務者会	専門部会	その後
平成23年度	事業所懇談会という前身 あしやっぶ作成。		
平成24年度	施設ツアー 事例集約 地域課題を抽出 夜間・休日対応 意思確認の難しい方への支援 ショート利用・空き状況の情報共有	サポートファイルの作成	
平成25年度	留学制度について 24年度の課題を3グループで検討。 ①柔軟性のある送迎サービス ②施設入所者（児）の移動支援利用について ③商品開発や芦屋市ブランドの共同受注・開発について	サポートファイルの作成	
平成26年度	施設連絡会が解散したため福祉フェアの 合同説明会を担う 自立支援協議会で3つの案から選定を依頼 するも、 決まらず小委員会を作ることになりそこ で決定した。	市内事業所における送迎サービスに ついて ※準備会が12月からH27.6まで行われ た。	
平成27年度	「あしやっぶ」のバージョンアップ（事 業所情報の更新、福祉避難所のマップ、 避難所情報、防災情報ページを入れる）	送迎部会 送迎サービスシステム作成	
平成28年度	高齢と障がいの連携方法や発信の仕方な ど具体化や、誰にどのように投げかけて いくか（研修会の開催等）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「あしやっぶ」の改訂</li> <li>・「障がい啓発冊子」の改訂</li> </ul>	
平成29年度	市内障がい福祉に関する情報をタイム リーにみられる状況を作る	障がい⇒高齢つなぐシステム作り	地域ケアシステム検討委員会にお いて65歳PTが継続中
平成30年度	触れる障がい福祉情報を得られる場を実 施する	情報ポータルサイト「あしやねっと ♪」の作成	「あしやねっと♪」を継続運営 （運営：基幹）
平成31年度	障がい児者に関わるボランティアの育成 と啓発	芦屋の障がい福祉事業所「まるっと 説明会」の実施	「まるっと説明会」を毎年実施予 定（事務局：基幹）
令和2年度	令和2年8月開始予定	障がい児者に関わるボランティアの 育成と地域での啓発	

令和2年度 実務者会名簿(案)

構成員	No	所属	名前	正副
	1	なかよし工房	高橋 浄江	正
	2	阪神南障がい者就業・生活支援センター	山口 佐起子	副
	3	児童デイサービスまいきつず芦屋精道(放デイ地域の会)	梶田 真史	
	4	ワークホーム つつじ	仁頃 哲太郎	
	5	居宅介護事業所すずな	福田 晶子	
	6	芦屋市身体障害児者父母の会(芦屋市障がい団体連合会)	能瀬 仁美	
	7	兵庫県立芦屋特別支援学校	森實 伸一	
	8	芦屋市 教育委員会 学校教育部 学校教育課	森 洋樹	
	9	障がい者相談支援事業所(芦屋市社会福祉協議会)	津田 美穂	
	10	障がい者相談支援事業所(三田谷治療教育院)	齋藤 正樹	
	11	障害者等相談支援圏域コーディネーター(三田谷治療教育院)	中野 美智子	
	12	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	野田 実沙	
	13	芦屋市 こども・健康部 子育て推進課	小川 智瑞子	
アドバイザー	兵庫県立大学大学院 経営研究科 教授	木下 隆志		

事務局・その他	事務局	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	三芳 学
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	笠井 光子
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	川上 幾子
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	佐野 敬
	その他	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	川原 聖貴

令和2年度 芦屋市自立支援協議会 専門部会 企画書

1. 令和2年度芦屋市自立支援協議会専門部会のタイトル ※自立支援協議会については、裏面参照

障がい児・者に関わるボランティアを増やし、地域での障がい理解を広める  
～地域での居場所づくりや人材確保にもつなげていこう！！～

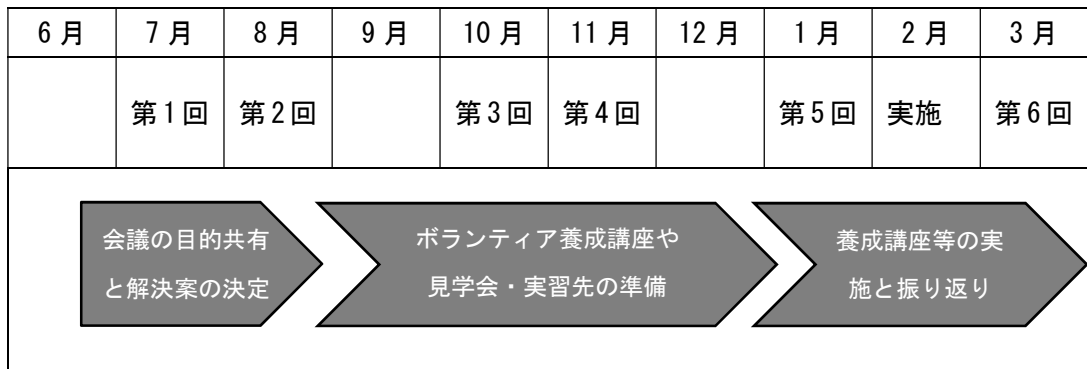
2. 前年度（平成31年度）芦屋市自立支援協議会実務者会で抽出された課題

課題	要因
障がい福祉ボランティアが少ない	ボランティアが減少していること、新規福祉事業所がボランティアの関わり方がわからない
障がい児・者への地域での理解が薄い	高齢者に比べて、障がい者との接点が少なく、関わり方がわからず、誤解がある
障がい者が作業所から帰宅後の居場所が地域に少ない	作業所が終了してから家族が仕事から帰ってくるまでに空白の時間があり、居場所が必要である
障がい福祉における職員が慢性的に足りていない	低賃金でのマイナスイメージ以外にも日頃から接点が薄いことが参入阻害要因となっている

3. 令和2年度芦屋市自立支援協議会専門部会のテーマ

- 4つの課題を解決するため、今年度は、『啓発を兼ねた障がい児・者へのボランティア養成講座や福祉事業所見学会等を実施』⇒ボランティアを増やす⇒実際に福祉事業所での継続的なボランティア活動に繋げる。
- そのことが、将来的に地域での居場所や地域共生社会づくり、そして障がい福祉における人材確保などへの基盤としていく。

4. ロードマップ（令和2年度芦屋市自立支援協議会専門部会）



【補足資料】

●芦屋市自立支援協議会とは

芦屋市自立支援協議会は、障害者総合支援法に基づき、障がい児・者が自立した日常生活及び社会生活を営むことが出来るよう、地域の実情に応じた体制の整備について、学識経験者、福祉・医療関係者、福祉・教育・保健等の行政職員にて協議を行う。

また、下位組織として、「実務者会」と「専門部会」があり、「実務者会」では、地域の現状や課題等を協議、抽出し、その抽出された課題に対して、翌年度の「専門部会」が、1年間掛けて実現させていく。

●この間の自立支援協議会の経過

	実務者会	専門部会	その後
H30 年度	触れる障がい福祉情報を得られる場を実施する	情報ポータルサイト 「あしやねっと」の作成	「あしやねっと」を継続運営
H31 年度	障がい児・者に関わるボランティアの育成と啓発	芦屋の障がい福祉事業所 「まるっと説明会」の実施	「まるっと説明会」を毎年実施予定
R2 年度	R2 年 8 月開始予定	障がい児・者に関わるボランティアの育成と地域での啓発	地域居場所づくり？ 人材確保？

●令和 2 年度芦屋市自立支援協議会専門部会構成員

別紙参照

●新型コロナウイルスの影響について

当初は、専門部会を 5 月より開始する予定で進めていたが、新型コロナウイルスでの緊急事態宣言等で専門部会の開始が大幅に遅れている。

構成員においても各機関でコロナ対策があり、これまでのように専門部会に出席が難しい可能性もある。

また、ボランティア養成講座や事業所見学会などは、「密」にはなりえないのか、新型コロナウイルスの第 2 波、第 3 波も想定されるため、年度内で課題解決できるかなど、これまでとは違う問題は山積された状態ではある。しかしながら、今できる会議やイベントの在り方や体制も含め考えていき、少しでも早く芦屋市の障がい福祉に関する課題解決に繋げていきたい。

令和2年度 専門部会名簿

構 成 員	No	所属	名前	正副
	1	三田谷学園	河井 悦子	正
	2	芦屋市立みどり地域生活支援センター	奥谷 憲二郎	副
	3	芦屋メンタルサポートセンター	中尾 教子	
	4	放デイ地域の会(ひまわり)	朝井 美紀	
	5	芦屋市身体障害児者父母の会(芦屋市障がい団体連合会)	能瀬 仁美	
	6	あっとオーティズム	佐伯 比呂美	
	7	クラーク国際高校芦屋キャンパス	米田 拓人	
	8	芦屋大学	中村 光男	
	9	社協ボランティアセンター	宮平 太	
	10	社協ボランティアグループ(宙の会)	東海林 由規子	
	11	WAP会(輪になろう芦屋親の会)	永田 顕子	
	12	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	木村 円香	
	13	芦屋市こども・健康部健康課 子育て推進課こども係	三浪 佳奈子	
	14	障がい者相談支援事業所(一般)	天羽 加織	
	15	障がい者相談支援事業所(一般)	古結 香南	
オブザーバー	ひょうごボランタリープラザ	鬼城 良一		

事 務 局 ・ そ の 他	事 務 局	芦屋市障がい者基幹相談支援センター	三芳 学
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	三木 菜津子
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	松村 幸治
		芦屋市障がい者基幹相談支援センター	佐野 敬
	そ の 他	芦屋市 福祉部 障がい福祉課	長谷 啓弘
		三田谷学園	柁澤 正明